

## 第15回 MELON 会員と市民のつどい 「見つけよう! 暮らしの中のエコ」開催のお知らせ

【日時】6月12日(土) 13:00~16:30  
 【参加】参加無料・入場自由  
 【会場】せんだいメディアテーク1F オープンスクエア  
 (青葉区春日町2-1)

### <ステージ>

13:30 ~ 維持会員総会

14:40 ~ 会員対象クイズ大会!

15:00 ~ 記念講演  
 「企業の環境活動は  
 あなた(市民)が変える!」

講師：川北秀人氏

(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)



暮らしの中には企業が作った物やサービスが溢れています。企業が環境に対しどう動くか、その鍵を握っているのは消費者です。NPO・市民団体のマネジメントや、企業の社会的責任(CSR)への取り組みを支援するとともにNPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている川北氏からお話を伺います。

### <ブースエリア>\*常設

宮城の自然と  
 南国の島国ツバルの写真展

ツバルの写真：遠藤秀一氏  
 (特定非営利活動法人  
 TuvaluOverview 代表理事/写真家)

宮城とツバルには、  
 美しい自然とそこに暮らす人々が  
 います。  
 地球の美しさ、宮城の美しさを見直してみませんか?



### エコ体験ブース

ごみや水を考える体験ブース/エコ紙芝居の  
 上演/プロスポーツの取り組み  
 紹介/紙すき体験/天水桶  
 紹介など

暮らしの中で活用できるエコや、エコ  
 グッズの紹介、自然を学ぶ体験ブース  
 など楽しいブースや展示が盛りだく  
 さんです。  
 お気軽にお立ち寄りください!



©1999 VEGALTA

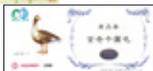
ベガッ太くんに会えるかも?!

## \*会場設営ボランティアも同時募集中\*

### 会員状況

1,029名

法人 101  
 任意団体 16  
 個人 912  
 2010年4月15日現在



### ボランティアポイントカードを ご活用ください

部会・プロジェクトの例会、イベントにボランティア参加する際にボランティアポイントカードをお持ちください。1回の参加で1スタンプを捺印します。5つ貯まるとMELON協力商品券(1,000円分)と交換できます。カードを紛失した方は事務局までご連絡いただければ再発行いたします。

### MELON 協力商品券を利用しましょう。

「MELON 協力商品券」を積極的にご利用ください。利用額の一部がMELONに寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。

### \*\*\* Index \*\*\*

- P2. 森で遊ぼう! in 川崎町貸森林
- P3. エコ花見
- P4. EPO 通信  
シリーズ かんきょう読み聞かせ
- P5. 協同組合のコーナー  
MELON20周年を目指せ! 50人リレートーク
- P6. COP15 報告会
- P7. ストップ温暖化センターみやぎ「通信」  
MELON スタッフ紹介
- P8. 投稿欄、イベント一覧、編集後記

2010 年度第 1 回 MELON 環境市民講座

## 「森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」

開催日時：5月15日（土）8：50～15：30  
 場所：川崎町貸森林  
 講師：宮城県地球温暖化防止活動推進員  
 森林グループ「エコ・森林」

春の暖かな日差しの中、仙台駅からマイクロバスに乗って川崎町の森林のお話を伺いながら、大人13名子ども8名で川崎町貸森林にお邪魔しました。

バスを降りると、小道の両側には杉などの森林が広がり気持ちのいい風が流れていました。仙台の街を離れて自然の中に来たことを実感します。準備体操の後、迎えに来てくれた講師の方と一緒に山を登りながら植物の観察や山菜を摘み、またカエルを追う子どももいたり早速自然を楽しみました。

フィールドに到着すると、そこにはツリーハウスやブランコ、かまどや落ち葉のプールなど楽しそうな設備がたくさんありました。子どもたちは我慢できず早々にツリーハウスやブランコで自由に遊び始めていました。

11名の講師の方々の挨拶の後、まずは昼食のためのかまどの準備です。講師が火を起こし、子どもは薪を集めたりうちわで火を扇ぎました。火の準備ができた後は、竹炭窯を見たりブランコで遊んだり、植物に興味がある方は山の中に行ったりと自由に過ごしました。講師の方が常に側にいてくれるので、参加者も安心して行動することができました。テーブルに飾られた花もそんな講師の方々の細かな気遣いを感じるものでした。

かまどの火の調整をしながらの焼き芋作りを子どもが手伝っていると、「昔の人は火もやりながら料理していたんでしょ。たいへんだったんだね。」と言っていました。日頃はコンロで簡単に使っている火がいかに便利か、火を起こすことがいかに大変かを実感したようでした。



大人気の  
手作りのブランコ



川崎町の菜の花で採れた菜種油でサンショウやシドケ、藤の花の天ぷらを揚げました。



山を登りながら植物観察。講師は何でも質問に答えてくれました。

そんなかまどでは、他に具だくさんのひつみつみ汁や採ってきた山菜の菜種油の天ぷら、くろもじ茶が調理され、山の自然の中で食べる食事は気持ちが良く、とてもおいしい贅沢なご飯でした。

川崎町は町の8割弱が森林と森林面積が広い地域です。それにも関わらずその森林は手入れされず荒れてしまっていたのですが、それを改善・活用しようと森林の貸付制度が始まりました。（「特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会」が行っています。）エコ・森林の方々はその森林を借りて、間伐やきのこの植菌、竹炭作りなどの取り組みをしています。適度に樹木を伐採することでその切り株から新しい芽が出て、森林が再生します。森林を活用することで、水質浄化や土砂崩落防止につながります。

参加者の感想でも、「貴重な経験をさせていただきありがとうございました。子どもはツリーハウス、薪割り、ブランコ、探検とても楽しんでいました。私自身もいろいろ体験でき楽しかったです。日本の森の現状を改善しようとする方々の存在を知ることができたのも大変勉強になりました。」と子どもも大人も楽しみながら里山の現状を学べる講座となりました。

緑・食部会では親子で楽しみながら環境を学べる講座を企画しています。次回は7月4日（日）「田んぼの学校」を開催します。こちらもお楽しみに！



## 出張 MELONcafe & ホームページの「アウトドアのエコ」実践企画 「エコ花見」

開催日時：4月18日（日）11:00～13:00  
場 所：三神峯公園

前日は季節外れの雪が降り、無事に開催できるか、桜が咲いているか心配しながら、会場の三神峯公園に向かって仙台駅から約30分の「西多賀一丁目西」で下車。公園に到着してみると、やはり、桜は一分咲き……。しかし、花見客の場所取りのシートがあちこちに見受けられ、天気の方もなんとかもってくれそうでした。

公園をしばらく歩いていくと、「MELON」と書かれた緑色ののぼりがあり、朝から場所取りをしていたスタッフと一般参加の方もおり、ほっとしました。

11時前になると他に3人が合流し、6人でMELON「エコ花見」の開始です。事前に呼びかけていたのでマイ箸、マイタンブラー、マイ皿はみなさん持参です。料理や飲み物は1人1品以上持ち寄りだったため、米粉を使った唐揚げ、地場産のお米で作った手まり寿司、大容量の紙パックの白ワイン……。などたくさん揃いました。お弁当を風呂敷で包んできた方もいました。



みなさんのご自慢の料理です。



肌寒い中、参加ありがとうございました。



エコ花見、オープンです！



桜の開花はなんとか間に合いました。

「かんぱ〜い」を皮切りにおいしい料理と飲み物に箸が進み、エコの話題も盛り込みつつさまざまな話題で会話も弾みました。途中からさらに3名が加わり、総勢9名で花見を楽しみました。中でも途中参加の方が昨夜から仕込んだブロック肉の煮込みは絶品でした！

夕方になり、そろそろ解散の時間に。今回出たゴミの量は9名で小さいゴミ袋で2つとビール缶3本、ワイン瓶1本でした。お弁当の容器に残った料理と、これらのゴミは、しっかりお持ち帰りしました。

前日の悪天候のために参加予定だった方たちがキャンセルになったこと、連日の寒さでつぼみが膨らまず一部咲きだったのが残念でしたが、地場産の料理を通して地産地消について話したり、ゴミを出さない工夫をしたりと「エコ花見」としては十分な成果を出せたと思います。参加いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

MELONではエコ花見の他にも、ホームページでアウトドアのエコをご紹介します。夏はバーベキューで、みなさんもエコなアウトドアを実践してみませんか？



今回のごみです。たくさん飲んで、食べてこれだけでした。

## EPO 東北通信

東北環境パートナーシップオフィス（EPO（エポ）東北）は、全国に7カ所ある『地方環境パートナーシップオフィス』のうちの1つとして2006年7月に開設されました。2010年4月から環境省と財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）が協働して運営しています。

EPO 東北は、東北地域の環境活動を促進するために、人と人をつなぐ拠点となることを目的としています。持続可能な社会を目指したよりよい環境活動を進めるためには、行政や企業、市民、団体など、さまざまな分野の人や組織が垣根を越えて協力していくことが重要です。

そこで、地域の環境情報を発信し、それぞれが交流する機会を提供することで、活動の広がりや新たな取り組み創出のきっかけ作りを担います。

たくさんの方がEPO 東北をきっかけにして出会い、新たな環境活動の環が広がるよう、皆さんのパートナーシップ作りを支援します。

### EPO 東北 (東北環境パートナーシップオフィス)

〒980-0014  
仙台市青葉区本町 2-5-1  
オークビル 5F  
【TEL】 022-290-7179  
【TAX】 022-290-7181  
【Email】 info@epo-tohoku.jp  
【業務時間】  
月～金 9:30～18:00  
(休日/土日祝、お盆、年末年始)



### メキシコ湾のワニ?

海底油田から石油を送るパイプがこわれ、何万キロリットルという原油がメキシコ湾に流れ出しています。海底油田は国境をめぐる争いもときどき起こしながら、まだまだ開発が進んでいます。この事故も海や海岸で生きる生物たちに影響を与えるでしょうね。

『だって』という言葉は実に便利な言葉です。「1000メートルを超す深さのところから湧き出てくるのを止めるのは難しい」「考えもしなかったことが起こったんだ」「石油がなくなったら大変だから、油田の開発はやめられないでしょ」。なにか悪さをした子どもたちも、弁解はかならず『だって』ですからね。こんなとき、私たちは子どもたちの『だって』に、いつもどんな諭（さと）し方をしているのでしょうか。

今回は内田麟太郎 文、高島 純 絵「ワニぼうのかいすいよく」(文溪堂、2003年)を読んでみましょう。ワニぼうは親子ではじめて海にやってきます。のおんぴり



と海水浴を楽しみます。ワニくんは海の水のしょっぱいことに気がつきます。「海の水は塩辛いです。」と本で読むこともできますが、子どもたちにとっては、こんなふうに「体験する(感じる)」ことも大切なことなんですね。なんどもなんども読んであげられる本ですね。

さて、海から帰ったワニくん。日記にこう書きました。「うみではケーキもしょっぱいのかな」。

さあ、メキシコ湾の海底油田の事故に関係する人たちは、ワニくんの日記を読んだらどう答えてあげるのでしょうか。やっぱり一番最初に『だって』を使うのでしょうか。

## 各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

みやぎ生活協同組合から

夏休み親子企画「さかなの森に行ってみよう！」  
～森と水の観察会～参加者募集

イワナはきれいな水に住んでいるって本当？きれいな水はどこから流れてくるのだろう？

升沢遊歩道（大和町吉田）でブナの森を散策しながら“水”とのつながりを探してみましょう。宮城県内水面試験場を見学し、マスなどの淡水魚についてのお話も聞きます。みやぎ生協の「水辺の観察と水質測定」の実習も行います。夏休みの自由研究のテーマにピッタリです！

申込み・問合せ先

みやぎ生協生活文化部（担当：昆野、安達）  
〒981-3194 仙台市泉区八乙女 4-2-2  
TEL 022-218-3880  
FAX 022-218-3663  
E-mail sn.mkankyok@todock.jp

日 時：7月31日（土）9：00～16：00

※雨天決行

集合場所・時間：

バス乗車 仙台駅西口大型バス発着所  
8：50

定 員：45名

（親子15組程度。応募多数の場合抽選）

参加費：大人1,000円、中学生以下500円、  
（未就学児無料）持ち物：昼食、飲み物、雨具、軍手、帽子、敷物、  
筆記用具、タオル

申込方法：住所・氏名・電話番号・お子さんの年齢・企画名を明記し、ハガキ、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。

締切り：7月9日（金）



## MELON20周年をめざせ！

## 50人リレートーク



第31回目の執筆者

濱中郁子さん

（財団法人仙台市公園緑地協会）

朝、家を出てから何度土を踏みましたか？

ほんの少し前までは考えられないことでしたが、一日に一回も土を踏まないまま、過ごすことがありうる世の中になりました。地面を踏んで歩いていても、「土」に触れない。多くの方々が、そんな暮らしをしています。

仙台市により「緑の普及」のための施設として設置されている、「緑の相談所」。ここでは園芸に関する講習会を開催したり、花や緑に関する様々なご質問にお答えしています。市内はもちろん、時には県外からも、様々なお問い合わせをいただきます。

花の育て方や庭づくりなどの相談が多いのですが、最近はちょっと考えさせられるご質問も多くなりました。「買っていくらもたたないのに、鉢植えが枯れてしまった」というお客様。お話をよく伺ううちに、ずっと窓のないマンションの玄関に置いていたこと

が判明。時折照明がつくだけの場所に長く置けば、半月と持たないのは花のせいではありません。

またあるときは、「野菜の種を買ったのだけど、やっぱり土っていますか？」と若いお母さん。「土で育てると、ばい菌が入りそうで心配です」とのこと。

野菜は土に育つ。生物は太陽が育てる。今まではだれにでも当たり前だったことが、当たり前でなくなる。そんな時代が来つつあるのでしょうか。それでも、全く土に縁のない方でさえ、わざわざ鉢植えを買ったり、種をまこうとする、みなさんにそんな気持ちがあるうちは、私たちの「緑の相談」は続いてゆくのですね。

… 次号執筆者紹介 …

瀬上京子さん

（オープンガーデンみやぎ元会長）



©MIC



## 「～ COP15 参加報告会・国際シンポジウム～ 環境団体 MELON& 気候ネットワークが COP15 を斬る !!」

日時：3/8（月）18:00～20:15  
場所：フォレスト仙台 2 階第 6 会議室  
内容：

- ① COP15 と NGO・市民  
長谷川公一氏（東北大学大学院文学研究科教授・MELON 理事長）
- ② COP15 とサイドイベント  
中田俊彦氏（東北大学大学院工学研究科教授・ストップ温暖化センターみやぎ運営委員）
- ③ COP15 とその後 日本に関われるのは国と自治体の政策  
浅岡美恵氏（特定非営利活動法人気候ネットワーク代表・弁護士）

テレビでは知りえない COP15 の現地の様子や、何が話し合われたのかを知る報告会を開催しました。当日は夜の開催にもかかわらず約 60 名にご参加いただき、国際動向に対する関心の高さが現れていました。

まず長谷川公一理事長からは COP15 と NGO や市民のかかわりについてお話いただきました。COP15 では各国から集まった NGO などが世論喚起のイベントを行ったり、会議について評価やコメントを行ったりします。そして今回、コペンハーゲン市内のデモはなんと約 5 万人が参加し、投石などを理由に逮捕者が出たものの、全体としては子連れの参加者も多く、平和的なものだったそうです。

続いて中田俊彦氏からたくさんの動画や写真とともに、サイドイベント（ブースの出展やシンポジウムなど）の様子を伝えていただきました。サイドイベントの一つが、「エネルギーツアー」というコペンハーゲン郊外の 4 人家族の新居を訪れるツアーです。ここでは数々の省エネ技術が使われており、例えば壁の断熱材は厚さ約 30cm！参加者の皆さんは驚いた表情で画面に釘付けになっていました。他にも太陽熱温水器やなどがあり、化石燃料を一切使わずに快適なくらしをすることが可能です。



話に聞き入る約 60 名の来場者



浅岡美恵氏



長谷川公一理事長



中田俊彦氏

最後に浅岡美恵氏から本会議の詳しい説明と日本の今後の取り組みについてのお話をいただきました。「2020 年までに温室効果ガス排出量を 1990 年比 25% 削減」という目標は大々的に取り上げられました。しかし実は、その目標が効力を持つのは「全ての主要な国が、公平かつ実効性ある国際枠組みの構築や意欲的な目標の合意があると政令で認めるとき」との附則があります。そして世界を見渡せばドイツやノルウェーは 40%、イギリスは 34% というはるかに高い目標を掲げていることをお話されると、会場の皆さんは神妙な面持ちで聞き入っていました。

今年の COP は 11/29（月）～12/10（金）にメキシコのカンクンで開催されます。今年の COP ではどんな結果が出るのでしょうか？一市民・一 NGO として、目が離せません。

# ストップ温暖化センターみやぎ『通信』Vol.45

## 「日本とツバル、同じ地球の一員」 ～ストップ温暖化センターみやぎ 10 周年キャラバン遠藤秀一氏講演会 「ツバルから考える地球の未来」アンケート結果より～

2008 年度に七十七銀行さんよりいただいた寄附金の一部で、県内の小中高校大学計 10 校を回り、遠藤秀一氏（特定非営利活動法人 Tuvalu Overview 代表理事／写真家）の講演会を開催しました。ツバルの美しい風景とそれを壊す地球温暖化。そして自分達にできることを訴える今回の講演を通し、合計 2,000 名を超える児童・生徒・学生の皆さんが感じたことの一部をご紹介します。



身近にできることを訴える遠藤氏

### \*これから始めたい環境配慮型行動\*

講演後のアンケートで今後始めたい環境配慮型行動を選択してもらいました（複数回答可）。これによる CO<sub>2</sub> 排出削減量（見込み）は、約 25.4t-CO<sub>2</sub> です。

- ペットボトルの飲み物を買わない 524 名
- 買い物のとき、レジ袋をもらわない 1,139 名
- ごみは分別して捨てる 964 名
- テレビを見ないときは消す 1,133 名

### \*感想\*

- ・環境を大切にすることは地球の未来も守ることにつながると思った。（小学 6 年）
- ・日本とツバル、国は違っても同じ地球に住んでいる一員だということを考えても、今まで他人事という気持ちだったがツバルのことも自分のことという感じがしてきた。（中学 2 年）
- ・私たちができることは小さい。でもそれが積み重なれば未来は変わるのだと思った。（高校 1 年）
- ・大量消費をしている私たちの生活は、ツバルのように自給自足の生活をしている人たちから見れば不自然だと思う。（大学 3 年）

## MELON のスタッフが新しくなりました！

### MELON 事務局スタッフ



**江刺家由美子**  
(ストップ温暖化センターみやぎリーダー)  
メイン担当：環境学習  
趣味：果実酒作り、献血

**大原英範** (事務局長)  
**廣重朋子** (MELON リーダー)  
メイン担当：水部会、緑・食部会、MELONcafe、情報センター  
趣味：映画鑑賞（主に洋画。ジャンルは問わず）、寝ること

**小林幸司** (事務局統括)  
趣味：旅行（お金とヒマがあれば、いつでも）、食べ歩き（飲み会含む）、スポーツ観戦（主にアメフト、野球）

**三浦純**  
(ストップ温暖化センターみやぎスタッフ)  
メイン担当：調査研究

**篠原富雄** (MELON スタッフ)  
メイン担当：総務経理、ごみ減量プロジェクト  
趣味：生ゴミを堆肥にすること、畑を借りて「畑しごと」をはじめました。じゃがいもの芽がでるか心配しています。

**菅田華江** (MELON スタッフ)  
メイン担当：企業＆環境プロジェクト、エコシティ仙台プロデュースプロジェクト  
趣味：旅行（ふらりと地図と携帯を片手に一人旅）

### EPO 東北スタッフ



**井上郡康** (EPO 東北統括)  
趣味：愛娘と遊ぶこと

**佐々木雅博**  
(EPO 東北スタッフ)  
趣味：スポーツ観戦（サッカー）

**皆川桃子**  
(EPO 東北スタッフ)  
趣味：陶芸、トレッキング

2010 年度、スタッフや体制も新しくなりました！  
これからもよろしくお願いします。

88号の投稿テーマ  
「最近気に入っているエコグッズ」

「手作りマイ箸袋」  
姉に誕生日にももらったお手製の箸袋です。かわいくて、自慢の一品です。箸を持ち歩くのが楽しくなります♪ (ヒロシガ)

「たまねぎ茶」  
たまねぎの外側の茶色い皮を取って、煮出して作るたまねぎ茶をいつも持ち歩いています。麦茶のような色で結構おいしいです。(匿名)

「バジルの苗ポット」  
春になったので、手軽なポット型のバジルを種から育て始めました。連休の暑さや急な寒さに耐えながら元気に成長しています。このバジルで自家製のジェノベーゼを作るのが楽しみです。(山)

「水筒」  
毎日水筒を持ち歩いてます。友人の結婚式の引き出物でももらった水筒です。シルバーなので多少手荒にしても塗装も剥げずに長持ちしています。(ていな)

「うちわ」  
暑さが苦手な自分は、うちわが便利です。あらゆるバッグに必ず入れています。慌てて入った会議の場でも、うちわがあれば汗が引くので助かります。(シロクマ)

投稿募集

89号テーマ

「自分の身近な生物多様性」

私の近くにはこんな生きものが住んでいる、こんな生きものを見つけた！こんな植物も自生しています、など身近にいる動物や植物の情報を募集します。画像付投稿大歓迎です。  
今年日本の愛知名古屋でCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が開かれることから、MELONでも生物多様性に取り組んでいきます。

投稿方法

- エピソード、氏名（ニックネーム可）を明記して、メール、FAX、ハガキにてMELON情報センターへ。
- ケータイからの投稿はQRコードからご覧いただくと簡単です。
- 締め切り：7月12日（月）



MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者募集中です。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※部会・プロジェクトの例会や活動についてはMELON会員の方が参加できます。会員以外の方も1回オブザーバー参加できます。

6/3 (木)	ごみ減量プロジェクト例会
6/5 (土)	水部会活動 「身近な水環境の全国一斉調査」
6/8 (火)	IBM 環境シンポジウム MELON がパネル展示、理事長が講演を行います。
6/12 (土)	第15回 MELON 会員と市民のつどい 「見つけよう！くらしの中のエコ」
6/19 (土)	MELONcafe プチ講座 100万人のキャンドルナイト連動企画 「リメイクキャンドル作り」 水部会例会
6/23 (水)	第2回環境市民講座 「リサイクルセンター見学会 野菜くず、トレーの行方は？ in 大衡村」
6/26 (土)	まちなかエコマルシェ MELON が出店します。
6/30 (水)	エコシティ仙台プロデュースプロジェクト会議
7/4 (日)	第3回環境市民講座 「田んぼの学校」
7/6 (火)	仙台市「みんなですすめよう！ごみ減量、～10(土)リサイクル展」 MELON がパネル展示します。
7/17 (土)	MELONcafe プチ講座（内容未定）
7/24 (土)	まちなかエコマルシェ MELON が出店します。
7/27 (火)	第4回環境市民講座 「めざせ☆ベガルタ仙台エコサポーター～2010～」
7/30 (土)	第5回環境市民講座 （タイトル未定）日本製紙石巻工場見学会

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

編集後記

■ 4月からMELON事務局のスタッフになりました菅田です！みやぎから環境をより良くできるようにがんばります。よろしく願い致します！（菅田）

■ 事務局の机を新調！「広い机で仕事はかどろそう」と喜んだのもつかの間、その分書類を散らかしています…（江刺家）

■ 4月21日より経理、総務関係と「ごみ減量プロジェクト」の事務局も担当します。生まれは秋田県、おひつじ座、65歳の古株ですが、若い人たちに負けぬように頑張ります。（篠原）

■ 5月生まれの私は、毎年この時期になると気持ちが上向きになります♪4月の天候不順は、地球環境の変動のひとつの表れなのでしょうが・・・心配です。（菅井）

MELON とは 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク——通称『MELON』。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL022-301-9146 FAX022-219-5710

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL022-301-9145 FAX022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。

